

大館高が最優秀賞

県家庭クラブ
発表会
かまぶく普及活動で



県高校家庭クラブ研究発表大会で最優秀賞を受賞した6人（大館高）

8日に秋田市で行われた第59回県高校家庭クラブ研究発表大会で、大館が最優秀賞に輝いた。「大館高校から発信！かまぶくで伝える郷土の味」をテーマに、生活科学科2年生が郷土菓子「かまぶく」の研究、普及活動を紹介した。6年ぶりの受賞となり、次の東北大会も「かまぶくの良さを広め、頂点を狙う」と意気込む。

石田龍さん、大川麻衣さん、黒澤絵里奈さん、新沢杏樹さん、元田優里さん、柳澤佳奈さんの6人。「郷土の味を守り伝えたい」と、前年度の活動を引き継ぎ、普及を柱に展開した本年度の取り組みを発表した。

「作りやすさ」を研究し、小さいサイズの「Myかまぶく」を開発。市民や小学生対象の講習会を開催し、学校に「レシピがほしい」と問い合わせがくるなどの反響を紹介した。活動を通じ、校内の認知度が2割から8割

割に増えたという。今後の課題に、子育て世代への普及、手作りセットの商品化などを挙げた。

パワーポイントを使った分かりやすい発表を心掛け、「今までの活動が多くの人に伝わってうれしい」と生徒たち。「かまぶくは地域の人の思いも伝えてくれる宝物。今後も手作りの大切さを守り、郷土の味をつなげたい」と話している。

大館は3校が出場した学校家庭クラブの部で、最優秀賞を受賞。県代表として東北大会（12月15日・岩手県）に進む。東北の最優秀校1校は全国大会に出場する。